

総務大臣

高市 早苗 様

記録的な豪雪に伴う
国への緊急要望書

(平成29年2月)

鳥 取 県

豪雪被害に係る特別交付税の措置について

《提案・要望の内容》

- 2月9日からの記録的な豪雪により、車の立ち往生による道路の通行止めや漁船の沈没・転覆をはじめ各方面で多くの被害が生じており、県民生活に重大な影響を与えている。
- 道路等の除雪、伐倒木等の除去作業に加え、今後も農作物等の被害が拡大する可能性が高いことから、県及び各市町村はこのような緊急事態を受け、豪雪被害に対するあらゆる復興対策を速やかに講じなければならない。
- ついては、この度の県及び各市町村における豪雪時の緊急対応及び復興対策経費に係る特別交付税の措置について、格別の配慮をお願いしたい。

<提案・要望の背景>

○ 豪雪の状況

本県では、平成29年2月9日から13日にかけて、県下全域で記録的な豪雪に見舞われた。

< 2月14日までの最大積雪量 >

鳥取市（91cm）、米子市（40cm）、倉吉市（61cm）、智頭町（85cm）、大山町大山（264cm）

※鳥取市は33年ぶりの大雪（平年の10倍の積雪量に達する）

< 通行止め等の状況 >

山陰道・国道9号（八束水～はわいIC）で立ち往生により通行止め

その他、県道6路線、県管理国道4路線で通行止め

県道一本松覚寺線では孤立集落が発生 など

< JRの立ち往生の状況 >

大雪による信号トラブルで普通列車が立ち往生（山陰本線青谷駅）、乗客26人が車両内で一夜を明かす など

○ 被害の状況

漁船やプレジャーボートが沈没、死亡事故も発生。現在、被害状況の把握に努めているが、ビニールハウスの倒壊等、今後も農作物等を中心に被害が拡大する可能性が高い。

【主な被害状況】※2月14日現在

人的被害・・・大型トラックのチェーン着脱中の死亡事故（1名）

漁船沈没・・・18隻（一部において燃油漏れが発生）

プレジャーボート沈没・・・13隻

農業関係・・・切り花ハウスの倒壊、イチゴ連棟ハウスの倒壊、ブドウハウスの倒壊、積雪のため集乳車が到着せず牛乳を廃棄（630kg） 等

○ 鳥取県の対策（現在検討中）

※これまでの対応

- ・ 鳥取河川国道事務所等と連携し、立ち往生車両への給油支援、食料やお茶などの提供（山陰道、国道9号の全面通行止めに伴う対応） など